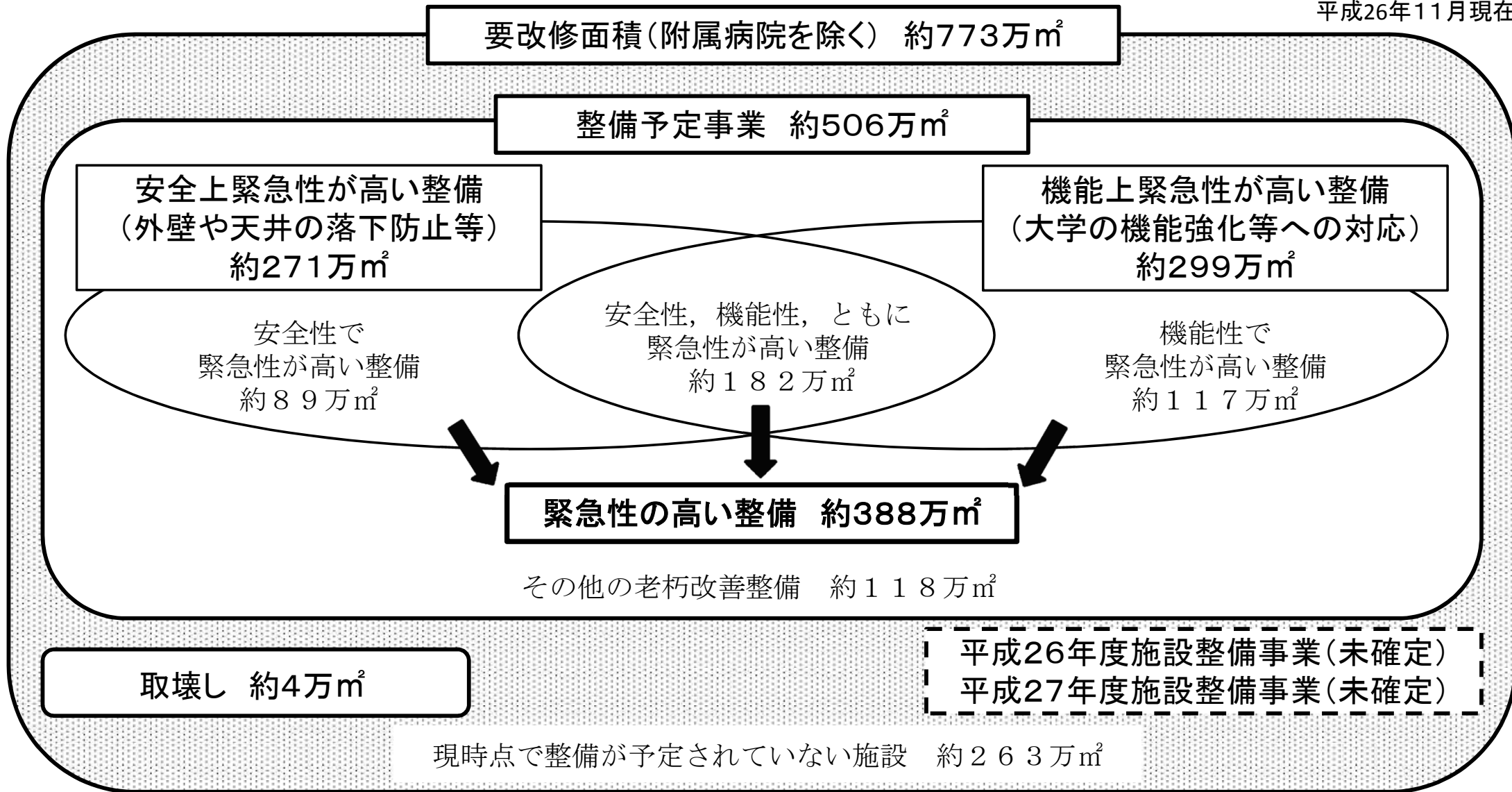


# 次期5か年計画期間の既存施設に係る整備予定事業の概要 資料1-3

- 平成26年11月に調査した結果、次期5か年計画期間中の整備予定事業の改修面積は、約506万㎡（要改修面積の約66%）  
（平成26年5月1日時点における次期5か年計画期間中の既存施設に係る要改修面積（附属病院除く）は、約773万㎡）
- 整備予定事業の改修面積のうち、安全性、機能性いずれかの観点で緊急性が高い整備は、約388万㎡（整備予定事業の改修面積の約77%）
- 緊急性が高い整備約388万㎡のうち、教育研究施設は約264万㎡（約68%）

平成26年11月現在



## 次期5か年計画期間の整備予定事業の集計結果

### 1. 整備予定事業の規模等

① 要改修面積(附属病院を除く)	7,726,355 m <sup>2</sup>
※経年25年以上で、未改修の施設及び一部改修済みの施設	
② 整備予定事業等	
整備予定事業	5,064,310 m <sup>2</sup> (要改修面積の約66%)
取壊し	35,530 m <sup>2</sup>
計	5,099,840 m <sup>2</sup>

### 2. 安全上緊急性の高い整備

安全・安心な教育研究環境の基盤の確保に係る事業

		(m <sup>2</sup> )			
	内容	改修	改築	計	棟数
1	外壁落下等への安全対策	1,422,547	215,200	1,637,747	841 棟
2	特定天井の落下防止対策	156,584	3,651	160,235	44 棟
3	事故事例等から必要な対策	852,900	54,281	907,181	489 棟
計		2,432,031	273,132	2,705,163	1,374 棟

### 3. 機能上緊急性の高い整備

国立大学等の機能強化等の新たなニーズへの対応として、必要な施設機能や用途を明確にしており、次期5か年計画期間中に整備を予定している事業

		(m <sup>2</sup> )			
	内容	改修	改築	計	棟数
1	施設機能の改善	2,221,393	68,692	2,290,085	909 棟
2	新たな用途への転用や集約化・共用化等	321,359	64,414	385,773	194 棟
3	建物構造等により新たな使い方ができない	84,854	230,107	314,961	134 棟
計		2,627,606	363,213	2,990,819	1,237 棟

### 4. 安全性と機能性の観点から、緊急に整備が必要な整備

		安全				
		1	2	3	左記以外	計
機能	1	817,944	45,598	501,696	924,847	2,290,085
	2	126,440	875	74,987	183,471	385,773
	3	185,688	5,767	56,006	67,500	314,961
	上記以外	507,675	107,995	274,492	1,183,329	2,073,491
	計	1,637,747	160,235	907,181	2,359,147	5,064,310

安全性、機能性ともに緊急性が高い整備 約182万m<sup>2</sup>

機能性で緊急性が高い整備 約117万m<sup>2</sup>

安全性で緊急性が高い整備 約89万m<sup>2</sup>

その他の老朽改善整備 約118万m<sup>2</sup>

### 5. 整備予定事業の優先度

		(m <sup>2</sup> )			
	内容	改修	改築	計	棟数
A	優先的課題として取り組む事業	2,428,831	242,838	2,671,669	1,560 棟
B	整備予定事業	1,523,055	134,201	1,657,256	842 棟
C	事業化の可能性のある事業	662,359	73,026	735,385	588 棟
計		4,614,245	450,065	5,064,310	2,990 棟

※A：キャンパスマスタープランの優先的課題に係る施設整備